ERICA-W 電気泳動槽

取扱説明書

DRC

ディー・アール・シー株式会社

目　次

第１章　ご使用にあたって

1.1　はじめに……1

1.2　使用条件……1

1.3　仕様……1

1.4　保証……2

1.5　安全にご使用いただくために……3

第２章　ERICA-*W* 電気泳動槽

2.1　構成内容……6

2.2　ERICA-*W* 電気泳動槽の組み立て……7

2.3　サンプルのアプライ……8

2.4　泳動……8

2.5　**Perfect NT Gel W**の取り外し……9

2.6　ERICA-*W* の洗浄……9

第３章　KYOCA Power Supply Series

3.1　KYOCA-*TR* Power Supply……10

第４章　**Perfect NT Gel W**

4.1　構成内容……11

4.2　泳動バッファー及びサンプルの調整……12

4.3　**Perfect NT Gel W**の使用方法……12

4.4　**Perfect NT Gel W**の保存方法……12

4.5　**Perfect NT Gel W**Ordering Informations……13

第１章　ご使用にあたって

1.1　はじめに

この度は、ディー・アール・シー株式会社の製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この取扱説明書は、**Perfect NT Gel System**の**ERICA-*W*** 電気泳動槽を正しくご使用いただくためのものです。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、内容をご理解の上ご使用下さい。
この取扱説明書は、　**ERICA-*W*** 電気泳動槽の電気泳動専用電源装置として **KYOCA-*TR* Power Supply** を使用しています。また、他の電気泳動専用電源装置を接続して使用することもできます。
ご使用の際は、この「取扱説明書」だけでなく接続する電気泳動専用電源装置の取扱説明書もお読みの上ご使用下さい。お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手元に置いてご使用下さい。
お買い上げの製品及びこの取扱説明書についてご不明な点がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせ下さい。

ディー・アール・シー株式会社
〒206-0033 東京都多摩市落合1-6-2サンライズ増田ビル
TEL 042-310-1331　FAX　042-310-1332
URL : http://www.drc2002.com

1.2　使用条件

ERICA-*W* 電気泳動槽は、ディー・アール・シー株式会社製 **Perfect NT Gel System** 専用の電気泳動槽で、ポリアクリルアミドゲル電気泳動を行う装置です。**ERICA-*W*** 電気泳動槽は、操作性に優れ、簡単にセットと２枚同時に泳動が行えます。完全下部バッファー冷却方式により、高電圧による高速泳動が可能です。ご使用の際は、**Perfect NT Gel System** 専用のプレキャストゲル **Perfect NT Gel W** が必要です。
Perfect NT Gel W に関しましては、**Perfect NT Gel** 取扱説明書をご参照下さい。
また、本装置は研究用機器です。研究用途以外にはご使用にならないようお願 いいたします。

1.3　仕様

ERICA-*W* 電気泳動槽

寸法	:	194W×78D×146Hmm
適合カセットサイズ	:	160W×100Hmm
バッファー容量	:	約760ml
泳動可能枚数	:	２枚
冷却方式	:	完全下部バッファー冷却方式
材質		
セルベース	:	アクリル
セルカバー	:	アクリル
アッパーバッファーチャンバー	:	アクリル
カセットホルダーＢ	:	アクリル
カセットホルダーＲ	:	アクリル

スーパーウェッジ	：	アクリル
シールガスケット	：	シリコン
電極	：	白金線

1.4　保証

ディー・アール・シー株式会社では、**ERICA-*W*** 電気泳動槽について弊社出荷日より１年間の性能保証をいたします。期間内に生じた製造上及び設計上に起因する故障につきましては、無償で修理・交換に応じております。ただし、下記による故障についての保証はいたしかねます。
また、この保証は本装置のみに適用されるものです。本装置に接続して使用される装置や試薬、試料などは保証及び補償の対象外になります。ディー・アール・シー株式会社では偶然的、間接的あるいは必然的な事故、損失および損傷については責任や負担を負いかねます。

1、取扱説明書記載以外の条件、方法により生じた故障
2、外圧など取り扱い上の過失による、破損が原因の故障
3、事故もしくはお取り扱いの誤りによる故障
4、天災、火災による損傷
5、ディー・アール・シー製以外の付属品・交換部品の使用による故障
6、分解・改造された装置の故障

以下の部品に関しては保証の対象外とさせていただきます。

1、白金線
2、シールガスケット

修理に関しましてはディー・アール・シー株式会社の技術スタッフが対応いたします。
弊社または購入された販売店までご連絡下さい。

1.5　安全にご使用いただくために

この取扱説明書は、本装置を安全にご使用いただき、事故等を未然に防ぐことにより人体への危害及び損害が生じないためのものです。この取扱説明書及び接続して使用する装置の取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解の上ご使用下さい。この項では、安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

本書中のマークの説明

危険	この表記を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表記を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表記を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

危険

●本装置や電源ケーブル等に触れる時は必ず電源装置のスイッチを切ってからにして下さい。漏電その他により感電・やけど・けがの原因となることがあります。決して電源装置のスイッチを切らずにセルベースからセルカバーをはずしたり、泳動槽の接続ケーブルを電源装置からはずさないで下さい。

●本装置や電源ケーブルを熱器具または火気の近くに設置しないで下さい。火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電源ケーブルは劣化やゆるみ等がないことを必ず確認してから本装置と電源装置を接続してコンセントに接続して下さい。火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
また、亀裂等発見された場合は作業を中止し、弊社に修理をご依頼下さい。

●本装置と電源装置の接続は、本装置に組み込まれているケーブルを直接接続してご使用下さい。針金など金属類で継ぎ足し接続をしないで下さい。火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●本装置を改造または分解したりしないで下さい。火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

⚠⚠警告

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した時は、そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに接続している電源装置のスイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して弊社に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですので絶対におやめ下さい。

●万一、本装置を倒したり、破損した場合は、すぐに接続している電源装置のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本装置が上記以外の異常が発生した時や、異常や故障と思われる場合は、すぐに接続している電源装置のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本装置外面や電源ケーブルは濡れた手でさわったり、濡らしてしまった場合は使用しないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。

●電源ケーブルの絶縁被覆がはがれていたり傷がある場合や接続端子に変形、腐食がある場合は使用を中止し、弊社にご連絡下さい。そのまま使用すると、接触不良による火災・感電の原因となることがあります。

●本装置を改造または分解したりしないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。お客様により改造または分解された装置は修理に応じられない場合がございます。

●本装置を運転中は、移動しないで下さい。緩衝液の液漏れ、電源ケーブルの接触不良などにより、火災・感電の原因となることがあります。移動させる場合は、接続している電源装置のスイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて行なって下さい。

●本装置や接続している電源装置のそばに薬品の入った試薬ビン等を置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。

●電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりねじったり、たばねたりしないで下さい。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると配線が破損し火災・感電の原因となることがあります。

●本装置や接続している電源装置は、加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。

●電源ケーブルは、ほこりや水などの液体が付着していないことを確認してから電源装置に接続して下さい。ほこりや水などの液体により火災・感電の原因となることがあります。

●電気泳動では、緩衝液の作成、染色、脱色等の作業において、劇物、危険物、発ガン性物質等を使用します。直接人体に接触させないで下さい。人が死亡または重傷を負う原因になることがあります。

⚠⚠注意

設置環境

●本装置は直接日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどの著しく温度が上昇するところに置かないで下さい。熱により装置本体が変形するなどして火災・感電の原因となることがあります。

●本装置はぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や、振動の激しいところなどに置かないで下さい。転倒や液漏れなどによる火災・感電の原因になることがあります。
また、転倒や落下等によりけがの原因となることがあります。

●本装置は流しの側や水しぶきがかかるようなところには置かないで下さい。漏電等により火災・感電の原因となることがあります。

●本装置底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お使いのとき

●電源ケーブルを接続している電源装置から抜くときは、必ず電源ケーブルの接続端子プラグを持って抜いて下さい。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つきや断線等をおこし接触不良等による火災・感電の原因となることがあります。

●本装置や電源ケーブルを熱器具に近づけないで下さい。装置本体や電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●ご使用にならないときは、安全のため必ず接続している電源装置のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、電源ケーブルを接続している電源装置から抜いて下さい。

●白金線電極は大変弱く切れやすいので、指で触ったり、洗浄のときにスポンジ等で押したりしないで下さい。白金線電極が切れてけがの原因となることがあります。

●本装置をベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないで下さい。装置本体の変色や変形の原因となることがあります。

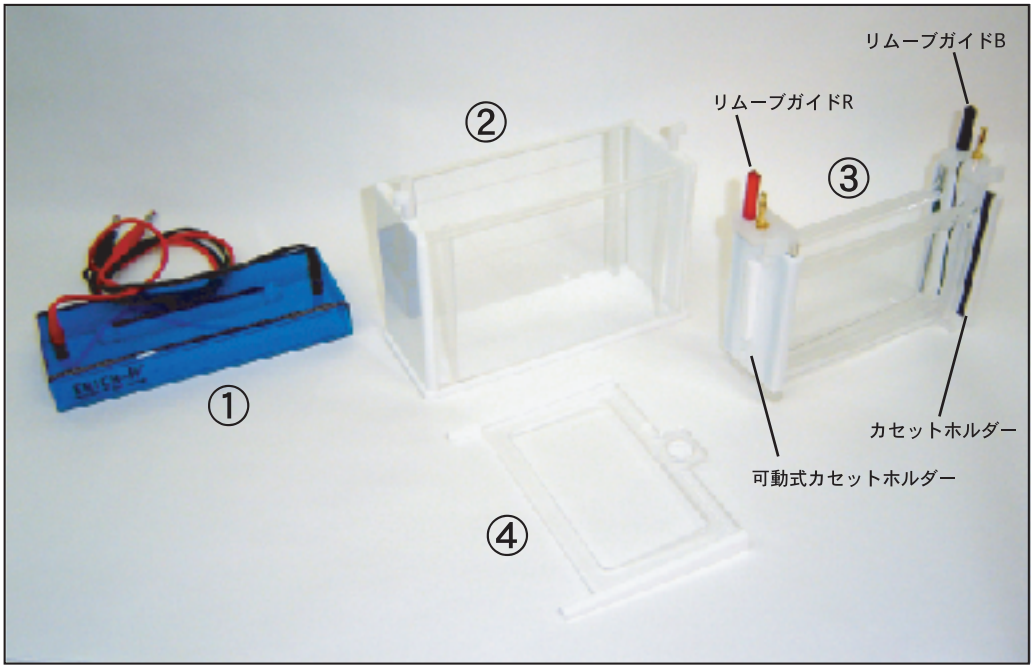
●本装置を保管されるときは、重い物の下にならないようにして下さい。破損による故障の原因となることがあります。

●本装置を落下させるなど、強い衝撃を与えないで下さい。破損による故障の原因となることがあります。

第２章　ERICA-*W*電気泳動槽

2.1構成内容

ERICA-*W*は、**Perfect NT Gel System** 専用の電気泳動槽です。ご使用の際は、 **Perfect NT Gel System** 専用のプレキャストゲル **Perfect NT Gel W**が必要です。 ERICA-*W* を正しく安全にご使用いただくために、実際の泳動を行なわれる前に装置の組み立て等操作に慣れてからご使用下さい。ERICA-*W*の組み立て方については2.2をご参照下さい。



①セルカバー（泳動槽カバー）

赤ケーブル及び黒ケーブルが付いています。
赤ケーブルをリムーブガイドＲ（赤）側に、黒ケーブルをリムーブガイドＢ（黒）側にしてかぶせます。セルカバーは一方向にしか、取り付けられない構造になっています。セルベースのストッパーを正しい向きにセットしないと、セルカバーは取り付けられません。また、泳動中にセルカバーを外すと接続プラグも外れ、電気が流れなくなります。
危険：接続プラグにバッファーが付着していると漏電することがあります。また、セルカバーは電源を切る前に外すことは避けて下さい。

②セルベース（下部バッファー槽）

セルベース上部の両端にストッパーが付いています。**Perfect NT Gel W**をセットしたアッパーバッファーチャンバーをセルベースに挿入すると、下部バッファー槽が形成されます。両サイドのストッパーを約90°回転させると、アッパーバッファーチャンバーが固定されます。
注意：アッパーバッファーチャンバーをセルベースに挿入する際、両ストッパーが外側を向いていることを確認して下さい。
注意：ストッパーについては、無理な力を加えると壊れることがありますので、取り扱いに注意して下さい。

③アッパーバッファーチャンバー（上部バッファー槽）

上部及び下部白金線電極、接続プラグ、シールチューブ、リムーブガイドＲ及びＢ、カセットホルダー、可動式カセットホルダーが付いています。**Perfect NT Gel W**カセットを２枚セットし、可動式カセットホルダーで押さえると上部バッファー槽が形成されます。１枚で泳動を行う場合はオプションのダミープレートをご用意下さい。
注意：上部及び下部白金線電極、接続プラグ、シールチューブ、リムーブガイドＲ及びＢについては、無理な力を加えると壊れることがありますので、取り扱いに注意して下さい。

④スーパーウェッジ

セルベースにアッパーバッファーチャンバーを挿入した後に、スーパーウェッジをセットすることにより、アッパーバッファーチャンバーが固定されます。

2.2 ERICA-*W* の組み立て

1．アッパーバッファーチャンバーの可動式カセットホルダー（リブームガイドＲ側）を拡げ水平な所に置きます。また、セルベース内部側面に切り込み溝がある側を左側になるように置きます。(図１)セルベースのストッパーは外側に向けておきます。

注意：ストッパーは外側に向けておいて下さい。アッパーバッファーチャンバーを挿入することができません。

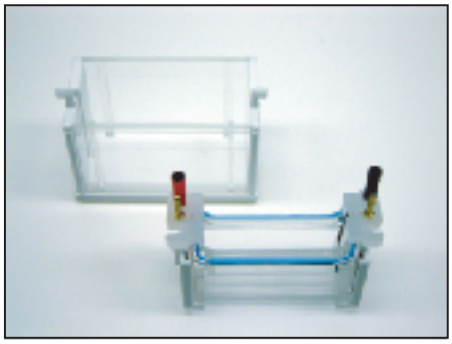


図１

2．ゲルを保存袋より取り出し、コームを静かに抜き取ります。カセットの外側に付いた保存液を超純水で洗い流します。 **Perfect NT Gel W**の詳しい使用方法は **Perfect NT Gel W**の取り扱い説明書をご参照下さい。

3．アッパーバッファーチャンバーの上からカセットホルダーの間に **Perfect NT Gel W**カセットの切り込みのある面が内側になるようにセットします。（図２）可動式カセットホルダ

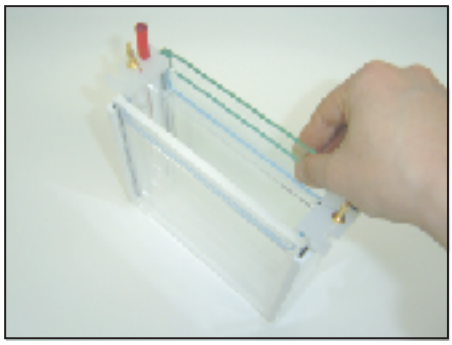


図２

ー(リムーブガイドＲ側)を閉じて**Perfect NT Gel W**カセットを固定します。（図３）

注意：１枚で泳動する場合は、オプションのダミープレートを**Perfect NT Gel W**カセットの代わりにセットして下さい。

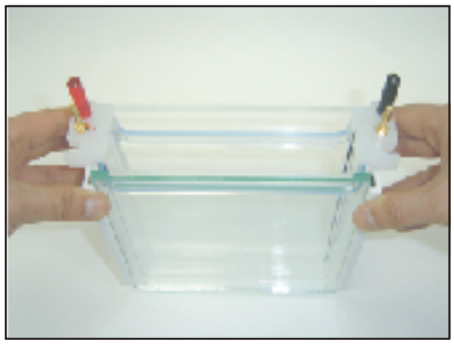


図３

4．アッパーバッファーチャンバーのリムーブガイドＲを左側にして、１．の状態のセルベースに挿入します。（図４）

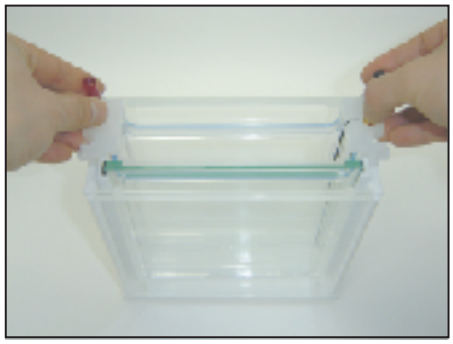


図４

セルベースのストッパーを約90°回転させてセルカバーをかぶせた時邪魔にならないようにします。(図５)

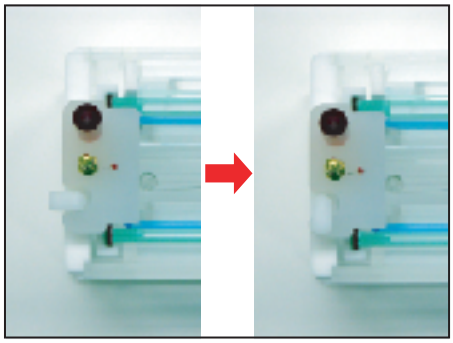


図５

5．アッパーバッファーチャンバーをセットしたセルベースの奥に、スーパーウェッジのトップが直角な面を**Perfect NT Gel W**カセットにつくように（図6）

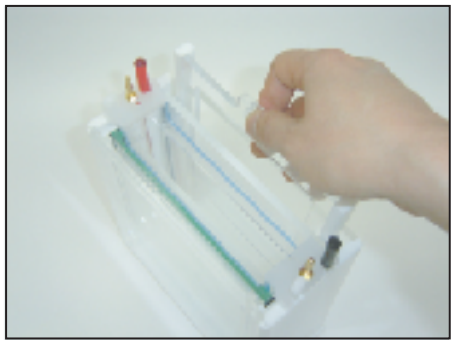


図６

水平に両手で差し込みます。（図7）

注意：スーパーウェッジを逆向きにセットすると歪んだ泳動結果となります。
また、スーパーウェッジを強く押し込み過ぎるとゲルがつぶれて泳動が乱れることが有りますのでご注意下さい。

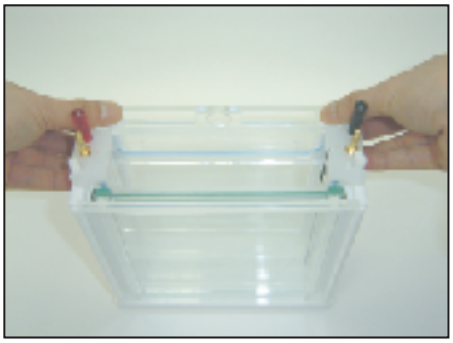


図 7

6．アッパーバッファーチャンバーに泳動バッファーを注入し溢れさせます。**Perfect NT Gel W**カセット底部より約2cmのところで一度注入を止めます。

7．セルベースを傾け、**Perfect NT Gel W**カセット底部に付着している気泡を取り除きます。

8．再びアッパーバッファーチャンバーに泳動バッファーを注入し、溢れさせます。セルベースのMAXラインで、注入を止めます。

注意：プレキャストゲル（硝子プレート）の製造ロットによってはアッパーバッファーチャンバーより泳動バッファーが漏れることがあります。泳動が途中で止まってしまうようなトラブルを防ぐためにも、泳動バッファーは必ずMAXラインまで注入して下さい。MAXラインを越えすぎて注入した場合は、液面の平衡位置がゲルカセットを越えてしまいます。この場合、陽極と陰極の間に一度に多量の電気が流れるために、接続している電源装置の安全装置が働き、電気が流れなくなります。（詳しくは接続している電源装置の取扱説明書をご確認下さい）その際は、一度接続している電源装置のスイッチをOFFにし、セルカバーを外しピペット等で下部バッファーをMAXラインまで取り除いて下さい。**ERICA-*W*** を再セット後、接続している電源装置のスイッチを ON にすると、再び電気は流れ始めます。それ以外で 接続している電源装置が止まってしまった場合は他の原因が考えられますので、すぐに使用を止め、弊社または購入された販売店までご連絡下さい。

2.3 サンプルのアプライ

マイクロシリンジやマイクロピペットを用いて、サンプルウェルにサンプルを静かに注入します。サンプルのアプライ量は以下の表をご参照下さい。

注意：サンプルを注入する時に、マイクロシリンジやマイクロピペットの先端でウェルの底を触らないで下さい。また、ゲルプレートの間に無理な力を加えないで下さい。泳動が乱れる原因となります。

サンプル量

コームタイプ	最適サンプル量	最大サンプル量
20well	10-20μL	30μL
28well	5-10μL	15μL
2-D	–	–

2.4 泳動

1．サンプルアプライ後、セルベースにセルカバーをセットします。この時、セルベース側のリムーブガイドの色と、セルカバーのケーブルの色が合うようにセットして下さい。（図8）セルカバーは一方にしかセットできない構造になっています。

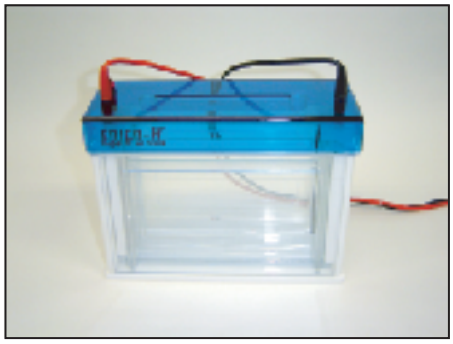


図 8

2．セルカバーのケーブルを **KYOCA-*TR* Power Supply** に接続します。**KYOCA-*TR* Power Supply** を以下の表の条件に設定します。

注意：泳動の際 **KYOCA-*TR* Power Supply** を使用しない場合は、別途以下の表に記載の電圧を流せるパワーサプライをご用意下さい。

KYOCA-*TR* 設定
Constant Voltage、mAmp:400mA、Time:CONT

電圧条件（電圧制御）

SDS-PAGE	300V
NATIVE-PAGE	150V
PEPTIDE	150V
DNA(TBE)	300V
DNA(Tris-HCL)	300V

3．**KYOCA-*TR* Power Supply** の「Start」ボタンをお押して、泳動を開始します。

4．フロントダイが **Perfect NT Gel W** の下端より５mmまで達したら **KYOCA-*TR* Power Supply** の「Stop」ボタンを押して、泳動を停止します。

2.5 Perfect NT Gel Wの取り外し

1．泳動終了後、接続した電源装置より電源ケーブルを外しセルカバーを外します。セルカバーを外す時は、図９のように両リムーブガイドを押さえながらセルカバーを引き上げます。

注意：セルカバーを外すときに無理な力を加えるとセルベースのストッパー、リムーブガイド、接続プラグが壊れることがあります。

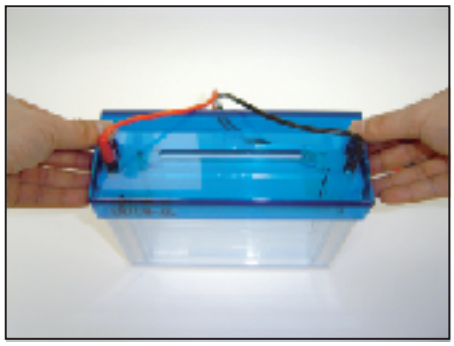


図９

2．**ERICA-*W*** を斜めに傾けて泳動バッファーを捨てます。

3．スーパーウェッジを引き抜きます。セルベースのストッパーをセット時と逆方向に約90°回転させます。

4．アッパーバッファーチャンバーをセルベースより取り出します。

5．アッパーバッファーチャンバーの可動式カセットホルダーを拡げ**Perfect NT Gel W**カセットを取り外します。

6．**Perfect NT Gel W**カセットの切れ込みがある方を上に向け、ウェル側のガ ラスプレートの隙間にへら等を差し込んで、切れ込みのあるガラスプレートを静かに持ち上げるようにして外します。ガラスプレートを外した際に、ゲルがガラスプレートのどちらかに付いていますので、ゲルの付いていないガラスプレートを取り除きます。この時、ゲルが破れないよう注意して下さい。ガラスプレートから外したゲルは目的に応じ、次の工程に進めて下さい。

2.6 ERICA-*W* の洗浄

ERICA-*W* ご使用後は毎回純水を十分にかけよくすすいで下さい。電源をつなぐ接続プラグに泳動バッファー等がかかってしまった場合は、純水をかけよくすすぎ、さび付かないようによく乾かして下さい。

注意：白金線電極は切断しないように注意して洗浄して下さい。

第3章　KYOCA Power Supply Serise

3.1 KYOCA-*TR* Power Supply

KYOCA-*TR* Power Supply は、電気泳動専用の電源装置です。高速SDS-PAGEからブロッティングまで幅広い用途で使用可能な装置です。*XV* PANTERA *MP* SYSTEM では、ERICA-*MP* 電気泳動槽、MINICA-*MP* ブロッティングモジュールと接続して、電気泳動からブロッティングまで行う場合に使用します。KYOCA-*TR* Power Supplyを正しく安全にご使用いただくために、実際の運転を行なわれる前に装置の操作に慣れてからご使用下さい。
KYOCA-*TR* Power Supply の操作方法は、KYOCA-*TR* Power Supplyの取扱説明書をご参照下さい。

仕様

出力範囲	:	10～300V　1Vステップ設定
		4～400mA　1mAステップ設定
		Max 100W
出力設定	:	定電圧制御、定電流制御
		リミット値に達するとクロスオーバーコントロール
タイマー機能	:	1分～20時間および連続
接続可能台数	:	4台
コントロールパネル	:	Capacitive touch screen
ディスプレイ	:	Color TFT, LCD
使用温度範囲	:	常温（低温室では使用出来ません）
使用湿度範囲	:	0～95％
入力電源	:	AC100～240VAC、50/60Hz
外寸	:	215W×155D×97.5Hmm
重量	:	0.68kg

第4章　Perfect NT Gel W

4.1構成内容

Perfect NT Gel Wは、タンパク質分析用、ポリペプチド分析用、DNA分析用（トリス塩酸ゲル）、DNA分析用（TBEゲル）の４種類をご用意しております。ゲル濃度、分画範囲、サンプル量、ゲルサイズ等は以下の表をご参照下さい。ご使用の際は、**Perfect NT Gel W**添付の取扱説明書をご参照下さい。

Perfect NT Gel W

内訳

Perfect NT Gel W　　5枚

① Perfect NT Gel W

仕　　様

ゲルタイプ	タンパク質分析用、ﾎﾟﾘﾍﾟﾌﾟﾁﾄﾞ分析用、DNA分析用(Tris HCL、TBE)
カセットサイズ	160×100mm
ゲルサイズ	140×80×1.0mm
コームタイプ	20well、28well、2-D
保存	4℃（凍結厳禁）
有効期限	製造日より３ヶ月

サンプル量

コームタイプ	最適サンプル量	最大サンプル量
20well	10-20μL	30μL
28well	5-10μL	15μL
2-D	−	−

タンパク質分析用(均一ゲル)

ゲル濃度	最適分画範囲
5%	500,000～100,000
7.5%	350,000～40,000
10%	250,000～25,000
12.5%	200,000～15,000
15%	150,000～10,000

ポリペプチド質分析用

ゲル濃度	最適分画範囲
15～20%	100,000～2,000

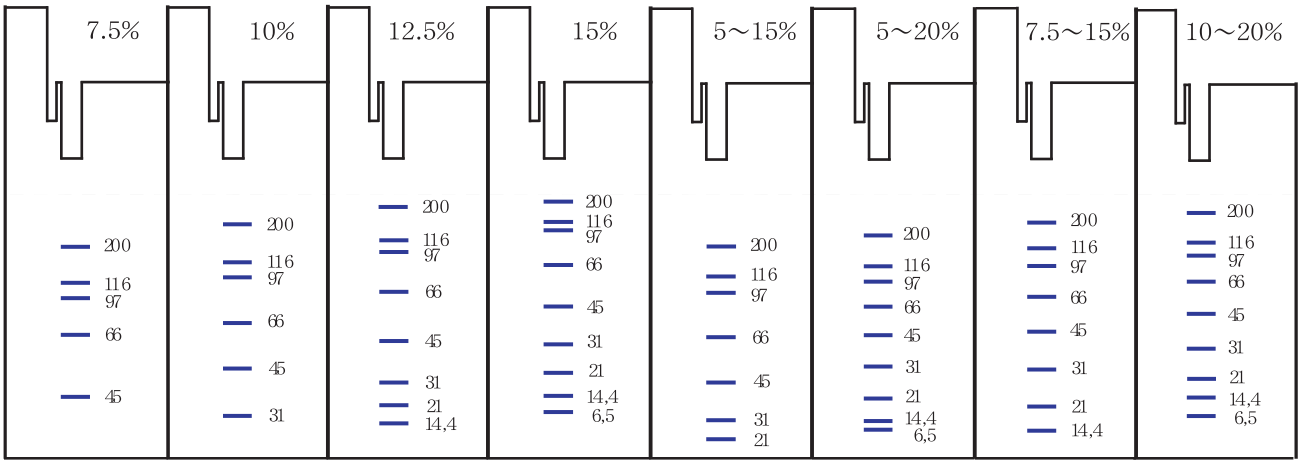
タンパク質分析用(グラジェントゲル)

ゲル濃度	最適分画範囲
2～15%	500,000～20,000
5～10%	450,000～35,000
5～12.5%	400,000～25,000
5～15%	400,000～20,000
5～20%	350,000～10,000
7.5～15%	300,000～15,000
10～20%	200,000～8,000
15～25%	200,000～3,000

DNA分析用(TBE)

ゲル濃度
5%
7.5%
10%
12.5%
5～10%
5～12.5%
7.5～12.5%
7.5～15%
10～15%

Perfect NT Gel Wの泳動パターン



ゲル濃度における分子量スタンダードの移動度（単位はkD）

4.2 泳動バッファー及びサンプルの調整

1．泳動バッファーの調整

泳動用バッファーは、ゲルの種類及び分析方法に応じて、以下の通りに調整して下さい。

注意：調整に使用する純水の純度は、泳動時間や銀染色の場合のバックグラウンドに影響しますので、出来る限り比抵抗18MΩ以上の超純水をご使用下さい。

1．タンパク分析用SDS-PAGE

トリスベース	3g
グリシン	14.4g
SDS	1g

上記のものを約800mlの超純水で攪拌しながら溶解し、超純水を加えて1000mlにします。

2．タンパク分析用NATIVE-PAGE

トリスベース	3g
グリシン	14.4g

上記のものを約800mlの超純水で攪拌しながら溶解し、超純水を加えて1000mlにします。

3．ポリペプチド分析用

トリスベース	12.1g
トリシン	17.9g
SDS	1g

上記のものを約800mlの超純水で攪拌しながら溶解し、超純水を加えて1000mlにします。

4．DNA分析用TBEゲル

トリスベース	10.8g
ホウ酸	5.5g
EDTA	0.4g

上記のものを約800mlの超純水で攪拌しながら溶解し、超純水を加えて1000mlにします。

5．DNA分析用トリス塩酸ゲル

トリスベース	3g
グリシン	14.4g
EDTA	0.8g

上記のものを約800mlの超純水で攪拌しながら溶解し、超純水を加えて1000mlにします。

2、サンプルの調整

1．サンプルをサンプルバッファーで染色又は反応に適切な濃度になるように希釈します。 また、サンプルバッファーは下表の通りの物をお薦めします。

注意：SDS-PAGE用のサンプルバッファーは、2-メルカプトエタノールが劣化しやすいため、長期保存した物を使用すると、分離に悪影響を及ぼす可能性があります。SDS-PAGE用のサンプルバッファーは、出来るだけ新鮮な物をご使用下さい。

SDS-PAGE	
0.0625M	Tris HCL pH 6.8
5%	2-ﾒﾙｶﾌﾟﾄｴﾀﾉｰﾙ
2%	SDS
20%	ｸﾞﾘｾﾛｰﾙ
0.005%	BPB
NATIVE-PAGE	
0.0625M	Tris HCL pH 6.8
20%	ｸﾞﾘｾﾛｰﾙ
0.005%	BPB
DNA分析(TBE、Tris HCL)	
0.0625M	Tris HCL pH6.8
20%	ｸﾞﾘｾﾛｰﾙ
0.005%	BPB
1mM	EDTA
0.05%	キシレンシアノールFF
PEPTIDE	
0.0625M	Tris HCL pH 6.8
4%	2-ﾒﾙｶﾌﾟﾄｴﾀﾉｰﾙ
1%	SDS
20%	ｸﾞﾘｾﾛｰﾙ
0.005%	BPB

2．SDS-PAGEのみ調整したサンプルを90℃で約5分間加熱します。

4.3 Perfect NT Gel Wの使用方法

1．ゲルプレートを保存袋から取り出し表面に付着した保存液を超純水で洗い流します。

2．ゲルプレートのコームを静かに抜き取ります。ウェルに歪みが生じた場合は、注射針等で直して下さい。

3．**Perfect NT Gel W**カセットを**ERICA-*W***に装着します。 **ERICA-*W*** への装着方法は、2.2をご参照下さい。

4．**Perfect NT Gel W**カセット装着後、2.3 以降を参照して泳動を行なって下さい。

4.4 Perfect NT Gel Wの保存方法

Perfect NT Gel Wの保存は、必ず梱包されてきた発砲スチロールケースに入れて冷蔵庫に保存してください。また、冷蔵庫に保存する際冷気吹き出し口の側に置かないで下さい。

4.5 Perfect NT Gel W Ordering Informations

タンパク質分析用　トリス塩酸ゲル
均一ゲル／グラジェントゲル[1]　５枚入

カタログ番号	ゲル濃度(%T) 最適分画範囲	ウェル数
NTH-702P NTH-706P NTH-707P	5% 500,000～100,000	2-D 20 28
NTH-712P NTH-716P NTH-717P	7.5% 350,000～40,000	2-D 20 28
NTH-722P NTH-726P NTH-727P	10% 250,000～25,000	2-D 20 28
NTH-732P NTH-736P NTH-737P	12.5% 200,000～15,000	2-D 20 28
NTH-742P NTH-746P NTH-747P	15% 150,000～10,000	2-D 20 28
NTH-7F2HP NTH-7F6HP NTH-7F7HP	2～15% 500,000～20,000	2-D 20 28
NTH-752HP NTH-756HP NTH-757HP	5～10% 450,000～35,000	2-D 20 28
NTH-7E2HP NTH-7E6HP NTH-7E7HP	5～12.5% 400,000～25,000	2-D 20 28
NTH-762HP NTH-766HP NTH-767HP	5～15% 400,000～20,000	2-D 20 28
NTH-772HP NTH-776HP NTH-777HP	5～20% 350,000～10,000	2-D 20 28
NTH-782HP NTH-786HP NTH-787HP	7.5～15% 300,000～15,000	2-D 20 28
NTH-792HP NTH-796HP NTH-797HP	10～20% 200,000～8,000	2-D 20 28
NTH-7G2HP NTH-7G6HP NTH-7G7HP	15～25% 200,000～3,000	2-D 20 28

ポリペプチド質分析用 1Mトリス塩酸ゲル
グラジェントゲル　５枚入

カタログ番号	ゲル濃度(%T) 最適分画範囲	ウェル数
NTH-7A2T NTH-7A6T NTH-7A7T	15～20% 100,000～2,000	2-D 20 28

DNA分析用　TBEゲル
均一ゲル／グラジェントゲル　５枚入

カタログ番号	ゲル濃度(%T) 最適分画範囲	ウェル数
NTB-706D NTB-707D	5%	20 28
NTB-716D NTB-717D	7.5%	20 28
NTB-726D NTB-727D	10%	20 28
NTB-736D NTB-737D	12.5%	20 28
NTB-756D NTB-757D	5～10%	20 28
NTB-7E6D NTB-7E7D	5～12.5%	20 28
NTB-7B6D NTB-7B7D	7.5～12.5%	20 28
NTB-786D NTB-787D	7.5～15%	20 28
NTB-7C6D NTB-7C7D	10～15%	20 28

DNA分析用　トリス塩酸ゲル
均一ゲル／グラジェントゲル　５枚入

カタログ番号	ゲル濃度(%T) 最適分画範囲	ウェル数
NTH-706D NTH-707D	5%	20 28
NTH-716D NTH-717D	7.5%	20 28
NTH-726D NTH-727D	10%	20 28
NTH-736D NTH-737D	12.5%	20 28
NTH-756D NTH-757D	5～10%	20 28
NTH-7E6D NTH-7E7D	5～12.5%	20 28
NTH-7B6D NTH-7B7D	7.5～12.5%	20 28
NTH-786D NTH-787D	7.5～15%	20 28
NTH-7C6D NTH-7C7D	10～15%	20 28

1 グラジェントゲルは、ゲルカセットからゲルを外しても台形状になりにくいＤＲＣ独自の拡がらないグラジェントゲルです。

＊10枚入り包装品もご用意しております。
　ご希望される場合は5枚入りのカタログ番号の後に10と付け加えて、ご依頼下さい。
（例）　NTH-776HPの場合はNTH-776HP10となります。

＊ゲル濃度に関しましては、特別注文をお受けしております。価格、納期等は通常品と同じです。
　特別注文品はご注文単位を10枚でお願いいたします。
　カタログに記載されていないゲル濃度をご注文される場合は、数字３桁の真中数をXとし、別途濃度をご指定ください。
（例）
・タンパク質分析用（Tris-HCLゲル）均一ゲル　20well
　NTH-7X6P　○○%　10枚入り
・タンパク質分析用（Tris-HCLゲル）拡がらないグラジェントゲル 20well
　NTH-7X6HP　○○～○○%　10枚入り
・ポリペプチド分析用（1M Tris-HCLゲル）均一ゲル／グラジェントゲル 20well
　NTH-7X6T　○○%または○○～○○%　10枚入り
・DNA分析用（TBEゲル）均一ゲル／グラジェントゲル 12well
　NTB-7X6D　○○%または○○～○○%　10枚入り
・DNA分析用（Tris-HCLゲル）均一ゲル／グラジェントゲル 20well
　NTH-7X6D　○○%または○○～○○%　10枚入り

ディー・アール・シー株式会社
〒206-0033 東京都多摩市落合1-6-2サンライズ増田ビル
TEL 042-310-1331　FAX　042-310-1332
URL : http://www.drc2002.com

2022.6.8改訂版